

## 函館動脈硬化懇談会の 活動状況

渡島医師会  
平田博巳内科クリニック

ひらた ひろみ  
平田 博巳

現在、私が代表幹事を務め、多くの先生に幹事として会を支えていただいている函館動脈硬化懇談会は、第1回の定例会を2001年9月に開催しました(中島滋夫先生の講演の後、会の会則、基本姿勢、数名の幹事、等を決定した)。そして2022年10月に225回目の定例会を迎えることになり、永きにわたり会を継続できたことを光栄に思い、関係してくださった皆様に心からの感謝を申し上げます。

この会の基本姿勢は、毎月1回、最終水曜日に必ず定例会を開催し、各幹事が順番に各自の専門分野や最新のトピックスを講演することであり、大変勉強になる会です(担当者は、発表の準備が大変ですが、そのために勉強もしますので自らをリフレッシュする会でもあります)。最近、外部講師を事前にお願ひして定例会で講演していただく機会が増えていて、担当幹事の負担はかなり軽減しています。

初期の頃には、多くの幹事に参加をお願いして、頸部エコーを使ってIMT(Intima Media Thickness 内膜中膜複合体厚)を測定し、年齢、疾患、検査値、喫煙、等のいくつかのリスク因子との相関を調べる大規模前向きスタディを実施することができ、中島滋夫先生、丹羽潤先生が中心となって、日本動脈硬化学会で成果を発表することができました。また、臨床検査技師と幹事ドクターの協力を得て、市民公開講座を開催することもでき、約100名の市民の参加をいただくことができました。この会は、動脈硬化についての基調講演の後、脈波心電図(PWV)と頸部エコー検査を実際に体験していただき、幹事のドクターが個々の結果に対し解説を加えるというもので、動脈硬化の認識、危険リスク因子の理解を目的としたものでしたが、受講された市民の方々の反応はとても良いものでした。

この会の自慢は、この定例会に加えて、たくさんの臨時の講演会(フォーラム)を開催していることです。既に74回開催されている臨床動脈硬化診断フォーラムをはじめ、脳卒中フォーラム、睡眠時無呼吸症候群フォーラム、肥満フォーラム、禁煙フォーラムを開催してきました。その際には、全国から精力的に活躍されている著名な先生にお越しいただいて、素晴らしい勉強の機会と、出会いの機会を提供させていただけたと思っています。

例を挙げますと、徳島大学・循環器内科の佐田政隆教授、慶應義塾大学・放射線科の陣崎雅弘教授には何度もお越しいただきましたし、東京大学の藤田

敏郎教授、奈良県立医科大学の室繁郎教授、東京医科歯科大学の吉田雅幸教授、大阪大学の山下静也教授、昭和大学の平野勉教授など、そうそうたる先生にもお越しいただけたことは大変な幸せでした。

最新のトピックスを勉強し、講演会後に美味しい料理とお酒で親睦を図るこの会は、開業医である私にとっては貴重な気分転換の場であり、自らのリフレッシュの機会にもなっています。

自分で目標を立てて勉強、トレーニングすることはなかなか簡単なことではないと実感しているこのごろですが、函館動脈硬化懇談会の定例会、ないし各種のフォーラムに参加していただければ、比較的容易に最新のトピックス、基礎知識の再認識ができますし、勉強仲間とお付き合いすることも、病診連携を発展させることもスムーズにできると考えています(函館市の多くの基幹病院のドクターには、本当にたくさんお世話になりましたこと、心より感謝申し上げます)。

函館地区、渡島地区で活躍されている、もっと多くのドクターに函館動脈硬化懇談会を知っていただき、多くのドクターがこの会の定例会、フォーラムに参加していただくことを心より願ひ、ここで紹介させていただきました。



徳島大学 佐田政隆先生を囲んで